

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

令和 6 年度

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年10月23日(水)(18:50~19:40)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 江崎、井口、湯川、中島、古山、石井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	8人	4人	1人	13人

前回の改善計画
面接・契約から利用開始まで短期間であったり、ご家族が遠方であったり、夫婦共に認知症であったり、介護保険を初めて受ける等、情報が不足している時にどのように情報を集めるのか協議する。近隣の方々と会えない場合など、どのような手段でコミュニケーションを取るか具体的に考える。写真掲載可否の一覧表は早急に作成する。
前回の改善計画に対する取組み結果
写真掲載可否の一覧表はすでに作成し活用できている。はじめの関わりで必要な情報が収集できていない場合もあるが、関係性ができてから徐々に聞いているケースも多い。近隣の方と関わる機会がなかなかなく、具体的な手段を考えることができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	11	2	0	13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	11	2	0	13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	11	1	0	13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	12	1	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	新規利用の際はケアマネの情報で発信されており、本人の気持ちにより添えるよう配慮している。写真掲載の一覧は作成され、情報共有できている。常に何が必要かを考えており、情報が少ない時は訪問などで得ることができている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	写真可否で、新規利用者の更新が出来ていない。利用者の求める支援、家族・職員の思いのズレがある。家族や介護者に会う機会が少なく接することができていない。欲しい情報とマッチしておらず、本人のできるところまで支援している。支援に無理があると感じたり、慎重になりすぎているところがある。情報が少なく手探りの状態ではじめており、わかる人とわからない人がいる。緊急で受ける時が多く情報が足りない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	はじめの関わりとして必要最低限の情報が欲しいので、一定のラインを決めておく。その情報から支援の内容を考え、支援開始後1ヶ月弱くらいで担当ケアマネがいる日に振り返りを行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年11月2日(18:50~19:40)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 岩崎・森・中島・井口・原田・佐藤・江崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	7人	1人	13人

前回の改善計画
ライフサポートプランの作成・研修・浸透・更新を目指し業務改善を行なう。センター方式シートについても活用を続け、利用者の自己実現の尊重につなげる。
前回の改善計画に対する取組み結果
ライフサポートプランには殆ど着手できていない。センター方式シートはケース会議の際に必要な応じたシートを選択して活用できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	3	10	0	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	4	9	0	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	4	9	0	13
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	8	4	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	本人との関わりの中での気づきをミーティングで伝えたり、ケース会議にてセンター方式シートを使用している。本人を理解しようと努めることで支援内容を話し合い、都度更新や変更を行えている。可能な範囲での希望に添ったレクリエーションや買物同行などニーズに沿った支援を行い、その際の様子を家族に報告している。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	決定内容が曖昧であったり、継続出来ずにいつしか決まっている事が消えてしまっていることがある。決まった事の評価、再アセスメントなど出来ていないことがあり、継続したケアに繋がっていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	ライフサポートプランの作成・研修・浸透・更新を少しでも取り組めるように時間を作っていく。センター方式シートについても引き続き活用を続け、利用者の自己実現の尊重につなげる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年11月6日(水) 18:00~19:30

3. 日常生活の支援

メンバー 江崎、森、湯川、古山、岩崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	6人	2人	13人

前回の改善計画
支援記録システムへの色々な記録方法の見本を作成し、システムの理解を深め使いやすい方法で使用を統一する。手順書の定期更新は続け、センター方式シートを活用しつつライフサポートプランの作成に一部着手する。
前回の改善計画に対する取組み結果
システムの記録の統一化はできていない。手順書の更新はタイムリーにできていないことが多く、ライフサポートプランの着手もできていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	4	7	2	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	11	0	0	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	9	4	0	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	11	0	0	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	9	1	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	ミーティングで様々なことについて話し合いができている。チームとして本人の気持ちや変化を共有し支援につなげている。本人に無理のないペースで過ごしてもらえるようにしている。会話や表情から、やりたくないことなど無理強いしないよう本人の気持ちに任せている。本人の強みを考えられている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	ライフサポートプランの作成、手順書の更新ができていない。以前の暮らし方を10個以上把握できていない。記録はしていても不十分でわかりにくい時がある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	手順書の見直しはミーティングの時にノートPC・遂行表・手順書をセットにして話し合うことで随時の更新につなげる。また各職員ライフサポートプランが立てられるようケース会議で勉強会もしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年11月6日(水) 18:00~19:30

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 江崎、森、湯川、古山、岩崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	5人	8人	0人	13人

前回の改善計画	利用者が住んでいる地域の役員とも良い関係が作れるようにする。また地域包括支援センターとの連携も増やしていき、民生委員・老人福祉委員などとのつながりを作って利用者の生活実態の把握に努める。個人情報については利用前に近隣との関係を確認し、情報開示についての同意を得る。
前回の改善計画に対する取組み結果	榎原学区の地域役員や地域包括支援センターとの関係性は構築できてきているが、個々の利用者の地域役員等とはなかなか関係性が築けていない。利用前の個人情報開示についての確認ができていないことが多い。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係を理解していますか?	1	5	7	0	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	9	4	0	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	7	6	0	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	1	11	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること イベントや運営推進会議等を通じて関係性が築けてきている。地域の集まりでの小多機の説明をさせて頂いている。 支援によって地域との関係性が断ち切られないよう調整している。 家族・介護者がこれからも関わりが持てるよう支援している。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること サービス利用時には地域の人との関係性が途切れている場合が多い。榎原以外の地域の方とのつながりに踏み込めていない。 自らあまり話されない方の情報が乏しく把握できておらず、暮らしに必要な資源の把握も不足している。 支援以外の時間の過ごし方の把握ができていない。家族・介護者以外の支援者と関わりが持てていない。 本人や家族から民生・老福の方との関わり方の情報が聞けていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 支援開始時に近隣等への情報開示の範囲及び同意を得ておく。近隣より声をかけられたら名刺を見せて自身の身分は明かす。センター方式シートで地域資源を把握できるよう努める。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年11月6日(水) 18:00~19:30

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 江崎、森、湯川、古山、岩崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	9人	4人	0人	13人

前回の改善計画
業務改善の検討を引き続き行い、ニーズに沿った居心地の良い生活環境を整える。職員が地域に出向く機会を作り、地域資源を知り自立支援に向けた活用が出来るようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果
業務改善の検討は継続している。檜原の地域には出向いているが、他の地域に出る機会や資源の把握ができていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	5	5	1	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	10	0	0	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	4	9	0	0	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	10	0	0	13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
近隣事業所や地域の方と一緒に研修を行ったりして同じような悩みを共有している。
本人や家族のニーズに応じて臨時や振替利用、送迎時間の変更など柔軟にサポートできている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
細かい業務が増え、整理ができていない。業務量が多く関わりの時間が減ってしまっていて変化に気づきにくい時がある。地域のインフォーマル資源の活用はできていない。
職員体制や他利用者の予定により、ニーズに応じられないこともある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
本人・家族に地域とのつながりに対する希望を聞いておく。情報収集(団地の掲示板など)・共有を行い、可能な範囲で地域活動に参加する機会を増やす。檜原学区以外(福西の団地などに利用者が多い)にターゲットを絞り、少しずつでも参加できるよう工夫をする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年11月8日(金) 15:20~15:30

6. 連携・協働

メンバー 岡田、林、中川、江崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	9人	2人	0人	13人

前回の改善計画
自分たちが出来ること・できそうなことを模索し続け、かたぎはら独自事業による定期的なイベントの開催の継続、今までに築いた地域住民との関係を維持し地域還元、またSDGsの取り組みにもつなげる。
前回の改善計画に対する取組み結果
定期的に独自イベントを開催し、チラシの配布やホームページでの周知で集客を促した。定期的に実施する事で近隣住民や児童館、地域役員等との交流が前回より濃くなってきた。しかしSDGsを前面に押し出した取組は意識しているものの周知されるまでには至らなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	7	2	3	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	4	4	3	13
②	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	1	8	3	1	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	3	9	0	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	独自の様々なイベントを通じて近隣や児童館とのつながりがある。地域ケア会議などに参加し、地域課題などを知る機会を得られている。地域以外の方とのつながりもある。イベントへの参加はリピーターの方がおられ関係性ができてきている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	町内会、自治会イベントへの参加ができていない(体制上、来て頂く方がやりやすい場合がある)。全ての人が参加することはできていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	引き続き、自分たちが出来ること・できそうなことを模索し続け、かたぎはら独自事業による定期的なイベントの開催の継続、地域住民との関係を維持し地域貢献に役立てるようにしていく。ECOやSDGsの取り組みにも積極的に参加し意識が高められるようにしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年11月9日(土) 15:20~15:35

7. 運営

メンバー 林、森、佐藤、中川、原田、江崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	2人	6人	4人	13人

前回の改善計画	今までに築いた地域住民との関係を維持し参加しなくなる消防訓練として、体験型(消火器の使い方、簡易担架の作り方、応急処置等)と豆知識、防災グッズの確認等を含めた形で企画・実施する。利用者家族へも案内し、地域においてどのような活動を行なっているのか伝えていく。また意見箱の設置により幅広い意見を頂けるよう工夫する。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域を意識した消防訓練等は出来ず、事業所の消防訓練に重点を置いた館内の訓練のみとなった。関係各所との相談、協議を行う時間が確保出来なかった事が要因と思われる。意見箱もセンター入口に設置したが、意見はほとんど入らなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	3	6	4	0	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	11	0	0	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	10	1	0	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	1	6	5	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 意見や苦情等は職員間で共有し、対応策について協議し運営に反映させている。 来られる方に気持ちよく出入りして頂けるよう玄関の整理について意見が言えている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 職員全員にAEDが設置されている事、設置場所、使用方法を周知出来ていなかった。 意見箱は設置したが意見が入っていない。地域との消防訓練などができなかったが、運営推進会議で話中で今後の実施には期待が持てる。地域に必要とされていることがどんなものなのかがわからない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 震災発生時の地域に対する事業所の対応や、備蓄の有無・防災グッズの確認等、職員が主体となつての研修を企画する。意見箱を認知してもらえよう、また意見が頂けるように設置方法や運用等を工夫する。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年11月9日(土) 15:20~15:35

8. 質を向上するための取組み

メンバー 林、森、佐藤、中川、原田、江崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	7人	1人	13人

前回の改善計画
外部研修はプチミーティングの用紙に何の研修案内が来ているのかを記入する事で興味を引き見られるようにする。内部研修はさらなる内容の充実を図り、受講できる体制が確保できるよう業務改善を行なっていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
外部研修をプチミーティングの用紙に記入せず、見やすく内容をチェック出来るようファイリングしていたが、全職員の目に止まるような周知が出来ていなかった。しかしレイアウトの変更によって可能となってきたので課題達成は期待できる。内部研修は年間計画に応じて毎月実施出来ており充実してきたが、受講できる体制の確保が課題として残った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	7	5	0	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	4	8	0	13
③	地域連絡会に参加していますか	0	4	3	6	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	9	2	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	リスクマネジメント委員会を毎月開催し振り返りを行っている。事故・ヒヤリ・苦情の報告があった時にはミーティングで話し合い取り組んでいる。 認知症介護実践者研修等の必要な専門研修が受講できるよう努力したり、内部研修は毎月開催できている。自身にできることはないかと常に気にかけている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	自身の学び等を伝達する時間が取れず事業所に還元できていない。地域の連絡会への参加ができない時もある。 研修案内の周知が全職員に回らないこともあった。興味のある研修でも勤務の兼ね合いで参加できないこともあった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	現在の研修周知方法を継続しつつ、ブラッシュアップを行ない、全職員の目に止まるような周知を工夫していく。研修が受講できる体制の確保に向けて業務改善を行なっていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年11月11日(月) 15:20~15:30

9. 人権・プライバシー

メンバー 福田、井口、佐藤、江崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	7人	2人	1人	13人

前回の改善計画
成年後見制度を学び、理解する機会を設ける。身体拘束、虐待、プライバシーについてさらなる研修、協議をする場を作るなどの取組みを行なう。

前回の改善計画に対する取組み結果
定期的な内部研修等を通じて、虐待防止やプライバシー保護の重要性は周知出来ている。成年後見制度の説明は行なっているが、学びが深められていない。どの利用者に成年後見制度が該当するのかわからない職員が多くいた。身体拘束、虐待、プライバシー保護について意識が低い時があり、個人情報管理やプライバシー保護に関して配慮が足りないまま支援してしまっており、職員間で協議する場を作れていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	6	7	0	0	13
②	虐待は行われていない	5	8	0	0	13
③	プライバシーが守られている	2	7	4	0	13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	9	2	2	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	1	10	2	0	13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
内部・外部の研修に参加し、理解を深めたり念頭におきながら業務できている。内部研修ではワークを通じて考える機会を作っている。成年後見は必要な方には活用されている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
成年後見制度に対する研修がほとんどできていない。職員間での情報共有時に、大きい声で話したりして個人情報やプライバシーの保護へ配慮できていないことがある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
成年後見制度についての学び、理解を深めて行く機会を設ける。身体拘束、虐待、プライバシー保護についても深く考えられるように、協議や研修の時間を確保していく。
スピーチロックが出来ていないことがある。

外部評価 地域かかわりシート①

- 外部評価（地域かかわりシート①）は、A～Fまでの6項目となります
- 項目Aについては「事業所自己評価」をお読みいただき、適当と思われる箇所に☑を記入ください。わかりにくい場合は、運営推進会議当日に事業者から説明がありますので、空欄のまま持参し、当日記入いただいても結構です。
- B～Fの項目については、当日までに下記チェック項目の適当と思われる箇所に☑を記入し、運営推進会議当日に持参してください。
- 当日は、運営推進会議メンバーの記入したチェック箇所を集計しながら、ご意見をいただく予定です。
- 下記チェックに基づき、当日お聞きしたい内容は、各項目の「できている点」「できていない点」「次回までの具体的な改善計画」の3点です。
- 地域かかわりシートへの皆様のご意見は、事業所の質の向上につながり、皆様の地域にとって必要な拠点となるために大変重要です。事業所を育て、認知症になっても、介護が必要となっても、安心して暮らし続けることができる町をともにつくるために、ご理解、ご協力をお願いします。

A. 事業所自己評価の確認（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤スタッフ全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？ ※常勤とは週32時間以上勤務の職員（正規・嘱託・臨時職の別ではない）	5		1
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されて実施していることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	4		2
3	前回の改善計画に対して、具体的な取組みが行われていましたか？	2		4
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	4		2

B. 事業所のしつらえ・環境（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取り組んでいましたか？ 【前回の改善計画】 前回計画にあげていた横断幕の作成、掲示を実現する。また地域の方の協力を得て看板を作成、立てる。植物の手入れをし、美化を保つ。	1	3	2
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	2	1	3
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	5		1
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	6		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	3	1	2

C. 事業所と地域のかかわり（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ 【前回の改善計画】 小規模多機能について説明させて頂ける場を増やし、積極的にアピールをすることで地域の相談窓口としての機能を果たす。	6		
1	職員はあいさつできていますか？	6		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	4		2
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	4		2
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	6		

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ 【前回の改善計画】 よもぎの活動など、利用者が役割を持って地域に出る機会を増やす。またそのためにも地域資源としてボランティア等の協力も得られるようにする。	6		
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	5	1	
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	5		1
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	6		
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	2		4

E. 運営推進会議を活かした取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ 取組みの透明性は引き続きわかりやすいよう報告し、相談することで地域力アップにつなげる。地域の気になる課題があればいつでも共有できるような仕組みを作る。	5		1
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	6		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？		3	3
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	6		
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	4		2

F. 事業所の防災・災害対策（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ 【前回の改善計画】 前回できなかった、消防や防犯・防災などの体験型の訓練を企画、実施する。	2	3	1
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	1	3	2
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	1	2	3
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？		6	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	2		4

以上で終了です。ありがとうございました。

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	5		1
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	4		2
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取り組みが行われていましたか？	2		4
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	4		2

<p>【上記4つのチェック項目に関する意見】</p> <p>※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員体制が大変と聞いている中、何度も話し合いを重ねて来られている様子 ・常勤職員との比率がわからないが、いろいろと意見交換がされている
<p>【前回の改善計画に対して意見】</p> <p>人員体制が整わない中でも、ミーティングの時間を取って意見交換や情報共有ができるよう、業務内容や時間の使い方を工夫していく。</p> <p>※前回の改善計画に対しての取り組み結果に対する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングの時間は取られているよう ・業務内容や時間の使い方の工夫などは具体的にはわからない
<p>【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】</p> <p>※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あまり詳しいことはわからないが、職員がわかるような具体的な計画になっているようなら良い
<p>【「自己評価」をテーマにした自由意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少し内容が難しく、どう意見をしていいのかわからない
<p>【改善計画】※後日記入</p> <p>支援内容の整理や業務の見直しを行うなどの業務改善を行い、ミーティングの時間を有効活用することでスタッフ間のチーム力を高めていく。</p>

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	1	3	2
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	2	1	3
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	5		1
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	6		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	3	1	2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・区社協が移転されてから玄関が閉まっている。
- ・特に音やにおいなどは感じない
- ・防犯で玄関に鍵をかけることも拘束になるのか
- ・場所が今ひとつわかりづらい
- ・事業所内は不快な臭いなどなく手作りの作品など温かい雰囲気がある

【前回の改善計画】

前回計画にあげていた横断幕の作成、掲示を実現する。また地域の方の協力を得て看板を作成、立てる。植物の手入れをし、美化を保つ。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・玄関など、植物の手入れは綺麗に行き届いている
- ・区役所で公募されていたプランターの花も申し込んで緑化運動に協力している
- ・外看板の作成に向けて業者と京都市に聞きながら話を進められたようだが、条例で使える面積の基準があり、既にいっぱいのため新たな看板の作成は難しい様子
- ・今の看板は目立たず、通りからは見えにくい
- ・横断幕は出し入れが大変そう
- ・事業所を出る時の玄関のロック解除がわかりづらい

【今回の改善計画】※後日記入

横断幕等の作成に着手し、わかりやすい建物をアピールする。また玄関等の清掃、美化を保つことで入りやすい工夫を行う。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6		
1	職員はあいさつできていますか？	6		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	4		2
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	4		2
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	6		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・前回の改善計画には取り組まれ、小規模多機能についての説明などを地域向けにしてもらっている
- ・何回聞いてもわからないので、繰り返し説明してもらえると助かる
- ・様々な場で地域との交流、啓発に取り組まれていることがわかります

【前回の改善計画】

小規模多機能について説明させて頂ける場を増やし、積極的にアピールをすることで地域の相談窓口としての機能を果たす。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・今年度すこやか学級や地域女性会などで小規模多機能について説明してもらったが、1回ではわかりにくいところもあるので、このまま続けてもらえたら良いのではないか。

【改善計画】※後日記入

昨年に引き続き小規模多機能について説明させて頂ける場を増やし、地域の相談窓口としての機能を果たす。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6		
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	5	1	
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	5		1
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	6		
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	2		4

<p>【上記5つのチェック項目に関する意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よもぎやどんぐりなどの話は取組みで聞かせてもらっていて、いろいろなアイデアで活動されていると思う ・地域のイベントに来てもらうことは、新型コロナが流行し出してからは減っているが、小学校でのフェスタには作品も出してもらったり当日の見学にも来てもらっている ・地域の場に利用者の方と来訪されたり、会議でもご家族の意見が反映されているのがとても良いと思います。
<p>【前回の改善計画】</p> <p>よもぎの活動など、利用者が役割を持って地域に出る機会を増やす。またそのためにも地域資源としてボランティア等の協力も得られるようにする。</p>
<p>【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントは色々企画してもらっているので、地域のイベントにも参加してもらったら良いと思う。 ・門松は地域から頂いた材料で、利用者と一緒に作られていて良いと思う。 ・移動動物園は子どもに好評だが、高齢者も動物セラピーとして取り入れられたら良いのではないかと。
<p>【改善計画】※後日記入。</p> <p>利用者が地域でも役割を持てるよう職員が積極的に出向く機会を増やし、地域資源の活用やボランティア活動の受け入れも行っていく。</p>

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5		1
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	6		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？		3	3
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	6		
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	4		2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・いつもわかりやすい写真のついた資料で説明してもらっている
- ・気になることなどは質問して話し合いができています
- ・気づきをたくさん頂ける場として参加しています
- ・今後もより良い連携ができるよう私たちも取り組んでいきます

【前回の改善計画】

取組みの透明性は引き続きわかりやすいよう報告し、相談することで地域力アップにつなげる。地域の気になる課題があればいつでも共有できるような仕組みを作る。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・取組み報告をきっかけに色々な話し合いが出来ている
- ・研修なども行われているので、一緒に勉強会など行えたら良いと思う。

【改善計画】※後日記入

取組みへの報告は引き続きわかりやすいように工夫をする。また「相談窓口」として認識してもらえよう、掲示板やのぼりなどを使って啓発していく。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	2	3	1
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	1	3	2
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	1	2	3
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？		6	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	2		4

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・防災計画はそれぞれが作っていると思うが、それが情報共有されていないのでどんな計画が立てられているのかわからない。それを知ることで災害時にどこがどのような動きをするのかわかるのではないかな。
- ・かたぎはらは土砂災害警戒区域に指定されているが、地域で実際にどうしていくのか具体的な事がわからない
- ・防災訓練など、近くの事業所も交えて一緒にできると良い
- ・BCP作成後、事業所・地域とどのように連携していくのか、今後更なる話し合いの場が必要と感じています
- ・事業所の防災訓練もどのようなことをされているのか知りたいです

【前回の改善計画】
 前回できなかった、消防や防犯・防災などの体験型の訓練を企画、実施する。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・今回、災害について話す場が出来たので次に活かせると思います。
- ・消防や防犯、防災などの体験型訓練は地域を呼んでやってもらえたらいいと思う。
- ・地域の防災訓練から声がかからないので参加できていないが、今後できればお互いの防災の取り組みがわかると思う。
- ・自主防災の活動をしていても、事業所がどんな協力をしてもらえるか等わからない。具体的に何ができるか等の話をお互いにしないと現実的ではないので、今後はつながりをもって取り組めたら良いと思う。
- ・かたぎはらフェスタで何かできたら良いと思う

【改善計画】※後日記入
 西京ふれあいまつりやかたぎはらフェスタなど、人が集まる時に体験型の消防・防災の訓練を参画する。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	京都市社会福祉協議会	代表者	高屋宏章	法人・事業所の特徴	施設理念の「笑顔とぬくもりを大切に、寄り添いながら、その人らしい暮らしを支えます」に加え「かんきょうを変えず、たのしみながら、ぎょうじに参加し、はつらつと、らしい生活のお手伝いをします」の小規模多機能のコンセプトを意識しながら、在宅で暮らし続けていけるように、職員間の話し合いを大切にして、適宜必要な情報を正しく共有できるように、そして、その時々に合わせて援助を心がけています。
事業所名	小規模多機能かたぎはら	管理者	柿迫稔夫		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	3人	0人	0人	1人	1人	14人	0人	0人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	人員体制が整わない中でも、ミーティングの時間を取って意見交換や情報共有ができるよう、業務内容や時間の使い方を工夫していく。	今回も人員体制は整わずさらに不足している状態であったが、登録者が定員に達し成果があった。ただ、全体会議の参加者が集まらないため開催できなかつたり、ミーティングもできない状況もあるが、なんとか数人でも話し合いはできた。業務改善を行いたいが、その話し合いをする時間がなかなか取れない現状がある。	職員体制が大変と聞いている中、何度も話し合いを重ねて来られている様子でミーティングの時間は取られているよう。業務内容や時間の使い方の工夫などは具体的に内容がわからないので、どう意見をしていいのかわからない。	支援内容の整理や業務の見直しを行うなどの業務改善を行い、ミーティングの時間を有効活用することでスタッフ間のチーム力を高めていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	前回計画にあげていた横断幕の作成、掲示を実現する。また地域の方の協力を得て看板を作成、立てる。植物の手入れをし、美化を保つ。	看板は着手しようとしたが京都市の条例で今以上の面積で追加するのは難しいことがわかった。	区役所で公募されていたプランターの花も申し込んで緑化運動に協力し、玄関の美化につとめられている。 今の看板は目立たず、通りから見えにくいのが、外看板の作成に向けて業者と京都市に聞きながら話を進められたとのこと。しかし条例で使える面積の基準があり、既にいっぱいのため新たな看板の作成は難しい様子。事業所を出る時の玄関のロック解除がわかりづらい。	横断幕等の作成に着手し、わかりやすい建物をアピールする。また玄関等の清掃、美化を保つことで入りやすい工夫を行う。
C. 事業所と地域のかかわり	小規模多機能について説明させて頂ける場を増やし、積極的にアピールをすることで地域の相	外部で小規模多機能について説明をしてもらっているが、自分たちでも難しいサービスなので引き続き	すこやか学級や地域女性会などで小規模多機能について説明してもらったが、1回ではわかり	昨年に引き続き小規模多機能について説明させて頂ける場を増やし、地域の相談窓口としての

	<p>談窓口としての機能を果たす。</p>	<p>一般の方にも知ってもらえるよう伝えていく機会を増やせたら良い。</p>	<p>にくいところもあるので、このまま続けてもらえたら良いのではないかな。</p>	<p>機能を果たす。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>よもぎの活動など、利用者が役割を持って地域に出る機会を増やす。またそのためにも地域資源としてボランティア等の協力も得られるようにする。</p>	<p>利用者の参加の機会も多くなっており活躍の場が増えている。また利用者の住んでいるそれぞれの地域でも活動できたら良いと思う。ボランティアも増えていったら良い。</p>	<p>門松も地域から頂いた材料で利用者と一緒に作られていて良いと思うし、イベントも色々企画されているので地域のイベントにも参加してもらったら良いと思う。移動動物園は子どもに好評だが高齢者も動物セラピーとして取り入れられたら良いのではないかな。</p>	<p>利用者が地域でも役割を持てるよう職員が積極的に出向く機会を増やし、地域資源の活用やボランティア活動の受け入れも行っていく。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>取り組みの透明性は引き続きわかりやすいよう報告し、相談することで地域力アップにつなげる。地域の気になる課題があればいつでも共有できるような仕組みを作る。</p>	<p>取り組みの報告はたくさんされているが、利用者以外での地域からの相談はほとんどない。相談してもらってつないでいく役割でもあるので、窓口があることを周知していったら良いのでは。</p>	<p>取り組み報告をきっかけに色々な話し合いが出来ている。研修なども行われているので、一緒に勉強会など行えたら良いと思う。</p>	<p>取り組みへの報告は引き続きわかりやすいように工夫をする。また「相談窓口」として認識してもらえるよう、掲示板やのぼりなどを使って啓発していく。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>前回できなかった、消防や防犯・防災などの体験型の訓練を企画、実施する。</p>	<p>ずっとやりたいと言いながらできていない。自事業所だけでの開催は人員的にも厳しいので、地域と協力してできるならその方が良い。特に小学校の校庭など使わせて頂けるなら、人も集まりやすく知って頂けると思う。</p>	<p>消防や防犯、防災などの体験型訓練を地域を呼んでやってもらえたら、お互いの防災の取り組みがわかると思う。自主防災の活動をしていても、事業所がどんな協力をしてもらえるか等わからない。具体的に何ができるか等の話をお互いにしないと現実的ではないので、今後はつながりをもって取り組めたら、かたぎはらフェスタでもできそうなので良いと思う。</p>	<p>西京ふれあいまつりやかたぎはらフェスタなど、人が集まる時に体験型の消防・防災の訓練を参画する。</p>